

持続可能な調達方針

2024 年 5 月

バージョン 3.0

SDPI 作成方針

三好化成グループは、サプライヤーと協力し、購入する原材料が品質基準、契約条件および CSR の理念に則ったものであることをお約束します。

お取引先との取引において、そのお取引先が私たちと同じように、この基準を厳守することを要求します。

この方針は、三好化成グループが持続可能な調達をお約束すると共に、サプライヤーにも同様にその方針に則って頂くよう要請することを目的としています。

三好化成グループのすべての従業員、特に、原料調達やサプライヤーと直接的・間接的に関係する者、CSR 方針を実行する者または CSR コンプライアンスの評価に携わる者は、この方針を遵守します。

1. リスク評価

リスクベースアプローチによって、CSR 関連の経済的・社会的・倫理的・環境の観点から、私たちはサプライチェーン全体における悪影響を特定し、対応・軽減するように努めています。新しい製品、新しいサプライヤー、新しい開発、または新しいプロセスを検討する際、これらの主要項目を分析し、当社の基本原則に則って最良の判断をしています。

2025 年までにサプライチェーンの 80% を評価することを目標としています。

2. サプライヤーエンゲージメント

サプライヤーには、法令および高いレベルの倫理基準を遵守し企業活動を行うことをお願いします。私たちの CSR 基準と目標を遵守する行動を要請します。

サプライチェーンにおける鉱物の重要性を認識し、また、紛争地域やリスクの高い地域における鉱物の採掘・取引・加工・輸出から生じる特定のリスクを踏まえ、当社では、「責任ある企業行動のための OECD デュー・ディリジェンス・ガイダンス」に従って、責任ある持続可能な調達方針を策定して

います。私たちの CSR 憲章および各方針に明記されたコミットメントは、サプライヤーとの関係において不可欠な要素であり、サプライヤーにも同様に優先的に遵守することを求めます。

2025 年までに、すべての主要原材料サプライヤーを含み、全体の 90%のサプライヤーに三好化成グループ CSR 行動基準に署名いただくことを目標としています。

またサプライヤーの行動規範が当社の方針と合致する場合は、サプライヤーのものを採用します。

3. サプライヤーの評価

当社独自の質問票への回答を通して、サプライヤーの環境への影響、社会的関与、倫理的行動、ビジネス慣行など CSR 活動への取組みについて評価を行います。サプライヤーの方針が当社の要求を十分に満たしていない場合には、満たして頂けるよう全力で支援します。

2025 年までに、全ての原材料、包装、物流のサプライヤーにおいて、またサービス及び下請けのサプライヤーの 80%について評価を実施することを目標としています。

購買管理者、品質管理者、CSR 管理者、また社内でこれらに携わる従業員は、この方針を理解し遵守する責任があります。

この方針は、2 年ごと、または必要に応じて見直されます。